

## 第 11 回上天草市環境審議会議事概要

日時：平成 24 年 11 月 29 日（木）14 時～15 時 50 分

場所：上天草市役所大矢野庁舎 2 階庁議室

### ■審議会委員

No.	所 属 等	氏名（敬称略）
1	熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター	逸 見 泰 久（会長）
2	崇城大学工学部エコデザイン学科	田 代 敬 大
3	上天草市区長連合会	森 山 高 信
4	熊本県漁業協同組合連合会	松 本 忠 明 ※欠席
5	上天草市商工会	宮 本 稔（副会長）
6	一般社団法人天草四郎観光協会	木 下 朋 江 ※欠席
7	特定非営利活動法人シートラスト	嶋 田 昭 仁 ※欠席
8	熊本県地球温暖化防止活動推進員	松 本 俊 介
9	公募委員	中 筋 幸 保
10	公募委員	藤 本 正

### ■事務局及び関係者

1	市民生活部 環境衛生課長	渡 辺 日出男
2	市民生活部 環境衛生課 環境係長	佐 藤 始
3	市民生活部 環境衛生課 環境係	友 添 真 也
4	市民生活部 環境衛生課 衛生係	近 野 祐 子

### ■次第

第 11 回環境審議会	配布資料
1 開会 2 議事 (1)環境に関する市民アンケート調査結果（平成 23 年 11 月実施）について (2)環境基本計画の進捗状況について (3)次世代エコ生活推進検討会議の状況について (4)その他 3 閉会	1 平成 23 年度環境に関する市民アンケート調査結果報告書（資料 1） 2 環境基本計画における数値目標（指標）の実績調査表（資料 2） 3 上天草市次世代エコ生活推進検討会議の概要（資料 3）

■議事要旨（◎：議長、○：委員、●：事務局）

## 1 開会

◎議長

それでは、次第にしたがいまして、ただ今から第11回環境審議会を開催します。今回も事務局が録音のうえ、審議会の議事概要を作成します。

## 2 議事

（1）環境に関する市民アンケート調査結果（H23年11月実施）について

●事務局

資料1 「環境に関する市民アンケート調査結果（平成23年11月実施）について」の報告

◎議長

それではただ今のアンケート調査結果に関して何か質問等あればお願いします。

○委員

基本的なことで確認ですが、平成22年になされたのとは別の調査ですか。また、同じ調査票を用いられていますか。

●事務局

別に23年度に行ったもので、同じ調査票です。

◎議長

これは無作為に選んでアンケートしたということは、男女も無作為ですか。

●事務局

そうです。

○委員

22年と23年で大きく違うという項目はございますか。ランダムサンプリングでなされていれば、一般には1年ぐらいではそう変わらない。変わる可能性があるとするれば3.11の震災の影響という可能性があるかと思いますが。

●事務局

大きく変わったといえますか、数値的には少し高くなっているものについては節水や節電などの意識がパーセンテージからは高くなっているというのは伺えると思います。

今年度も調査を行いますが、何年か続けていかないと分かりません。

◎議長

回収率は大体同じぐらいですか。

●事務局

39.2%です。

○委員

実は平成22年実施のアンケート調査の分析の手伝いをしています。環境に配慮した日常的な行動は性別や年齢別それから職業は非常に関連が高いと思います。その辺のところをもう少し細かに分析すると思いますので、改めてまた報告したいと思います。

◎議長

前は、市役所等の来庁者に依頼している分が入っているから少し違いますか。

●事務局

別々に前回集計した場合とあまり差はなかったので、合算しました。1,000人に対して回収は351でしたので、若干ではありますが回収率としてはいいほうです。

○委員

今回のアンケート調査で2点ほどお願いがあるのですが、数字を比較していくという意味で同じ調査票や同じ方式のほうが比較しやすいですが、個人的には調査票をもう少し作り変えられたほうがいいのではという印象も持っております。将来、‘まち’（上天草市）をどうしたいという考えがいろいろな自治会活動や市民活動に参加しているかないか、それに対する考え方などでずいぶん違ってきていますので。おそらくその基本は地域の共同性がどのくらいあるかということでもずいぶん違ってくると思います。その辺のことを入れられたほうがより上天草市民の意識が構造的にとらえられて、政策的にもどういう立案をしていくかが効果的な政策につながっていくか、というところが出てくると思います。御検討いただけたらと思います。

◎議長

2年間だけ見てもなかなかわからないと思いますが、せっかく時間をかけてアンケートを取っているわけですからある程度の時点できちんと分析しないとパーセンテージだけ見てもわからないと思います。

○委員

これは無作為に送られたということですが、実際何歳代にどれくらい送ったというのがないと、送った中の高齢な方の回収率が高いのかどうかも分かりにくいと思います。

◎議長

この問2の回収数は市の人口の分布に近いですか。年配の方がかなり回答していただいているように感じますが。

○委員

一般的な傾向ですが、やっぱり郵送方法にしますとどうしても回答していただけるのが60代以上に偏るということは分かっております。先ほどお願いの2点目ですが、自治会に配布する時と回収する時だけお願いできるのであれば、そういう方法にすると無作為抽出の意味がでてきます。郵送にするとせっかく無作為抽出しているのに元々の意義が薄れると思われれます。これは最近どこでもそういう傾向です。

○委員

この回収結果が22年度と23年度を見比べれば半分ですが、事務局では検討はされましたか。それから、この1,000人の人を抽出した時に、上天草市の176地区に適当に渡っていますか。

●事務局

最初の質問に関しては当初の22年度の回収数としては638ということになっておりますが、22年度については無作為抽出者に対する郵送を1,000人に対して行っておりまして、そこからの回収が351人でした。22年度は環境基本計画を策定する年でありましたので、市役所や商工会などにも調査票を置いて来庁者に対しても依頼をしたという経緯がありまして638という数値が出ております。

○委員

では、あまり変わらないですね。

●事務局

2つ目の質問については、一覧を見ないことには詳細は分かりかねますので後に調べましてから連絡させていただきたいと思います。

○委員

いいです。今年度も実施されますか。

●事務局

はい、1月ぐらいになると思います

○委員

個人的な意見ですが、環境とか自然に対しての関心などを他市町村と上天草市を比較したいですね。

●事務局

各市町村もデータで提供していると思いますのでホームページあたりから見られると思います。今後、意見を反映して会議に諮っていきたいと考えておりますのでよろしくをお願いします。

◎議長

アンケートの内容は上天草市独自のものですか。ほかの都市とある程度同じものですか。

●事務局

内容については市独自のものです。項目によっては同じ項目もあるかと思えます。

◎議長

同じ項目だけでも比較すればですね。

○委員

田代先生、これが市が実施する環境施策等に反映させることを目的としたアンケートになるのであれば、手法としては回収したものを反映させやすいように目的がより具体的になっているテーマ、問題を抱えているテーマに対するアンケートに作り替えていくべきでしょうか。

○委員

目的をどう持たせるかによろと思えます。今、お話がありましたように、具体的な争点になっていることを明確にお尋ねするというのも1つの考え方ですが、一般的には私は市民の方がどういうお考えかを明らかにして、どういう政策を選択されようとなさっているかという方が、よりアンケートとしては効果があると思えます。つまりどうしても単純集計の話でいきますと、何が何パーセントという議論になりがちですが、そうしますとその数字が正しいのかということになって難しいところがございますので、特に大きな問題にはアンケートという手法は必ずしもなじまないのではと。例えばごみ焼却場等の問題でありましたらそれを現実的に議論なさった方がより確かな意見がいただけるとそういう気がいたします。

○委員

この形態で続けて意義が見いだせますか。ある程度は変えていかないといけないですか。

○委員

わかりません。といいいますのはどういう方向に持っていかれようとされているかによるからです。同じ格好で時間的にやっていきますとその変化は結構信憑性を持って読み取れるということがありますので、いくつかの項目で大事なところは時間的な経過を見ていきますと動きがどちら方向に行っているかということは、かなり読み取れると思います。ただし、これはランダムサンプリング（無作為抽出）が大前提でございます。

○委員

わかりました。ありがとうございました。

○議長

アンケート自体、難しく回収率が40%ぐらいの時に回答してくださった方は環境にある程度意識のある方が回答していますから。この数字は信用できないとかあるいは、10年、20年後は当然、上天草市の年齢構成が変わりますから母集団自体変わるとか、いろいろ問題はありますが、そういう意味でアンケートは結構将来を見据えて行わないと1年、2年のことではないですから。しばらくは毎年続けるということですよ。傾向は読み取れると思います。1番のアンケートの調査結果についてよろしいでしょうか。また何かありましたら質問、意見をください。

## （2）環境基本計画の進捗状況について

●事務局

資料1 「環境基本計画における数値目標（指標）の実績調査表」の報告

○議長

ただ今の環境基本計画の進捗状況について何か御意見、質問がありましたらお願いします。

○委員

1番のイノシシ捕獲数ですけれども、今年はもう何頭ぐらい捕獲されているかわかりますか。かなり町の中に出てきているみたいですが。

●事務局

今年は確認してないですが、多いようです。今年度あたりにリモコンで操作して捕獲する最新式の罠を購入していると聞いております。

○委員

27年度の目標値が23年度の実績値と比較して下がっている部分が何箇所かありますが、段々上がっている数値を27年度で下げるといのは何か原因がありますか。

●事務局

27年度の目標値についてはこの計画を策定したときに設定した数値です。

○委員

そうですが、そのままいいのかという感じがします。変更も可能ではないですか。例えば23年度、24年度がもっと良くなってきたという場合、当然変えなければならぬという風に思いますので。やはり変更しながら上を目指した方がいいと思いますので。

●事務局

はい、27年度に見直しをします。

○委員

イノシシがぶつかってきたとか、人的被害というのはありましたか。イノシシを捕獲した数だけですね。

●事務局

車の被害は聞いたことがあります、イノシシが車にぶつかり、車体に傷が入ったとかですね。人体への被害というのは私たちは今まで聞いたことはございません。

◎議長

イノシシにかなり金額的にも使っているみたいですが、やはり上天草市だけでは意味がないので他の市町村、特に上島ですね。移動するものですから強化月間など一斉に何かやるといふ形でないと普通に獲っても結局減らないと思います。

●事務局

天草全体で広域でやるということですか。

◎議長

そうですね。島であればいいですけど、少なくとも上島の方はつながってますから。

●事務局

御意見については農林水産課の方にお伝えしたいと思います。

◎議長

できるだけ近隣の市町村と協力してやらないとですね。松くい虫もそうかもしれないですけど。

○委員

環境基本計画にイノシシの捕獲を掲げるということは、生態系を乱すことを勘案してこれを挙げてあるということですか。

●事務局

目標に中の環境保全という形の目標でございますので、その中で関連した案件ということで取り上げています。

○委員

事務局の方から答弁を受けまして、資料を持ち合わせていないというようなことがありますけども、今日の会議の中で答弁役として農林水産課や学務課の担当者が同席してもらえばいいと思いますが。

●事務局

行政内のほとんどの課が関連してくるような形になりますので。

○委員

上天草市の計画なので関係者が答弁役として同席されることも必要ではないかなと思いました。

○委員

アダプトプログラム3件はどこがしていますか。実績値3のところ、どの団体なのかわかりますか。

●事務局

現在は5団体あるようです。ちなみに上天草市内5か所の排水地と龍ヶ岳町民グラウンドの一部、旧湯島グラウンドの跡地、大矢野南部農免道路、大矢野の登山道ですが、要するに各ボランティア団体の方が管理されているということで登録は5団体というこ

とになっております。

○委員

これはごみ処理費は出ますか。例えば市民団体が行う場合ですが。

●事務局

それはボランティア活動ということで、ごみなど拾うと思います。そういう時は袋を無料配布しております。

○委員

なかなかいい制度ですね。私はNPO法人を運営してまして、ごみ拾いをして処理費が出ないので活動費がない私たちにはごみ処理費が負担になります。これはいいと思うので、私の所でも検討してみようと思います。資料ありがとうございました。

◎議長

水洗化率が下がっていますが、どういう理由でしょうか。

●事務局

水洗化率のパーセンテージに該当する世帯が転出した場合に下がるようです。

○委員

新築の場合は、合併浄化槽の義務化はされてませんか。

●事務局

平成13年4月から義務付けられています。

◎議長

水洗は無理があると思うので、合併浄化槽にしていくのが1番いいと思います。合併浄化槽できれいにして流さないと、汲み取りで集めるというのがありますが、将来的に海の汚れがひどくなると思います。

●事務局

市も県全体の平均から比べますとかなり低いものですから。河川あたりに影響してるのではないかと考えております。

◎議長

市のCO<sub>2</sub>と電気代が逆に上がっていますが何か理由がありますか。

●事務局

今年度は原発事故の影響などで結構取り組んでいます。現在の空調になる前でもありまして、22年度は実績に表れてないのかなと思います。

◎議長

どれくらい電気代がかかるか別にして、削れるところは冷暖房の省エネですね。

○委員

新庁舎は全部LEDですか。コストがかかっても取り戻しますよね。1番最初にできるからということでモデル的に市が取り組んでいった方がいいと思います。そういうのを含めて電気自動車・ハイブリットカーの推進もですが。今何台ハイブリットカーはありますか。

●事務局

ハイブリットカーは3、4台と思います。

○委員

電気自動車の充電スタンドは上天草にありますか。

●事務局

実は県が設置に対して場所の選定を行う際に、今年度さんぱ一るに設置したいということで、さんぱ一るの指定管理者の方で申請をしましたが不採択でした。

○委員

天草市は、3か所ぐらい民間のホテルや役所にありますよね。

●事務局

天草市は結構あります。10か所近くあったかと思います。今現状では、宇土の道の駅から有明のリップルランドの区間がないという形ですね。

◎議長

この数値目標も継続してやるためにはそれぞれ分析して傾向と対策をやらないといけません。

### (3) 次世代エコ生活推進検討会議について

●事務局

資料3 「上天草市次世代エコ生活推進検討会議の概要」の説明

◎議長

この前のエコ推進会議でも質問が出ましたが、この位置づけの図がとてもわかりづらいです。基本的にこの検討会議というのは我々の環境審議会下部組織みたいになる訳ですよ。会議を中心に書いて条例とかを付ければ分かりやすいと思います。

○委員

委員は、今6人ですか。

●事務局

そうです。規定上は10人まで委員を選定できますが、今の段階では大学の教授4名と湯島から2名を選定してます。会議の進捗状況に合わせて必要であれば委嘱をしようと考えてます。

◎議長

進む方向によって専門が変わってきますので、それぐらいの余裕は残しておいたほうが良いと思います。

◎議長

会議についてはその都度、報告いただけたらと思います。

### (4) その他

●事務局

「委員からの審議会審議事項の提案について」の報告

○委員

区長会長にお尋ねです。粗大ごみが月1回になりましたが、区では月1回の時と4か月に1回の時との変化など、住民の意見はどのような感じでしょうか。

○委員

市議会報告会の場において、大矢野地区は年に3回だったが毎月収集にしたことによ



って公費の負担が増加しているはずなのでデメリットではないかという質問がありましたが、他の地区は毎月ということからか出席者はあまり反応はなかったですね。逆に毎月収集することに賛同する人が多いのかなと思いました。

○委員

メガソーラーの話は上天草市にはありますか。

●事務局

あっております。発電事業として大矢野町に1か所、松島町に1か所です。その2件はうちの方で伺っております。

◎議長

今、市長が記者会見しているのは、どのような関係ですか。

●事務局

2年ぐらい前に話題になりましたEMを使った浄水活動の次年度からについてのことですが、現段階ではまだ言える状況ではございませんのでその点についてはコメントなどは差し控えさせていただきたいと思います。

◎議長

次回の内容について事務局はどのように考えてますか。

●事務局

議題の内容の整理がつかないと次回の開催は決められない部分なので整理ができ次第、御連絡差し上げたいと考えています。

◎議長

改めて日程は決めるということですね。いろんな環境の問題が上天草市に当然あるわけですからそれにどうかかわっていくかが審議会の役目だと思います。ここは続けられるということなのでどういう形で続けるかというのは結構大切かなと思っています。

●事務局

先日14市の担当者会議があり、環境審議会の運営方針として、環境基本計画などの課題を作成するときは諮問機関ということで、年に何回か開催されていますが、ほかの市の状況を見ましても年に1、2回という形です。

◎議長

次回の開催については改めて問合せがあるとのことなので、内容を含めて事務局に考えていただきたいと思います。

○委員

他の審議会、協議会では委員名簿がありますのでこちらでもお願いします。

●事務局

次回からそういたします。

### **3 閉会**